

# 新たな市場を求め台湾進出に10社が挑戦



## 「べっぴんさん品」を台湾日本食レストラン・百貨店に売り込む!

本年度の最重点テーマは「収縮した市場の拡大」。県内小規模事業者の販路拡大支援を海外にも拡充しようと、10月19日から5日間、商工会設立以来、初の試みとなる「海外商談会事業」を実施しました。

本事業は、5月に採択を受けた小規模事業者の海外進出を支援する国の補助等を活用。7月には、県、秋田銀行及び県貿易促進協会の三者が計画した「台湾経済交流ミッション事業」と連携、協賛団体としての参画が決まったことにより、村岡会長が佐竹知事、湊屋頭取らとともに台湾政府機関等を訪問しトップセールスを行いました。



### ●意欲ある10社が参加、秋田を代表する食材が勢揃い

商談会は10月20日から3日間、台北市で開催しました。秋田県内の特産品を一堂に集めることで魅力を高め、共同で売り込もうというのが狙いで、7月に募集したところ、10商工会から10社の応募がありました。いずれも商工会長が推薦する優良特産品「べっぴんさん品」の登録事業所であり、海外との取引経験は浅いものの海外進出に意欲が高い事業所ばかりで、秋田を代表する秋田米、きりたんぼ、いぶり漬け、佃煮などの食材29品が出展しました。

No	主な出展商品名	商工会名	事業所名
1	なかせんこまち真空パック	大 仙 市	(農法)中仙さくらファーム
2	レンジでチンするきりたんぼ	湖 東 3 町	郷土料理いしかわ
3	稲庭寶来うどん	ゆざわ小町	(有)稲庭宝泉堂
4	秋田比内地鶏ラーメン	仙 北 市	(株)アルク
5	いぶり大根	羽 後 町	(有)ゆめ企画須藤健太郎商店
6	佃煮	潟 上 市	佐藤食品(株)
7	プラムワイン高城	由利本荘市	(株)岩城
8	黒い果実(黒にんにく)	に か ほ 市	フェイスカンパニー
9	雑穀シリアル	北 秋 田 市	(株)あきた雑穀村
10	乾燥ナマコ	男 鹿 市	(株)ひろまる食品工房



### ■1日目 ホテルでの秋田県商談会「大手レストランチェーン・百貨店等と42件の商談」

秋田銀行が募集した12社を加え22社が参加。リージェントホテル台北を会場に中国信託銀行が招いた約40社のバイヤーが来場。予め設定したタイムスケジュールに沿って42件の商談を行いました。金融機関が招へいた信用ある企業ばかりで熱心な商談が展開されました。



### ■2日目 日本食レストランでの試食展示商談会「飲食店・卸売業等と49件の商談」

会場の「和食えん」は台北の繁華街にある「百貨店そごう」11階に立地する高級店。富裕層も多く、現地協力先SGM社の招きで、飲食、卸売業など約30名のバイヤーが来場し49件の商談を行いました。



### ■3日目 訪問による個別商談「スーパー、百貨店、貿易会社と11件の商談」

食品スーパーや卸売業者など4社を訪問し、代表がプレゼンを行いながら、個々の商品や秋田県の魅力をアピールしました。相手先を訪問することで理解が深まり、特にスーパーでは、店頭で並ぶ他の日本食材の価格、表示、分量、パッケージ等の市場調査を行うことができ、担当者に客の好みや売れ行きを質問するなど、実際の売場で商談が展開されました。



**【商談数は102件、優良な商談先との第1コンタクトが実現】**

3日間の商談のべ件数は102件、商談企業数は61社にのぼり、業種は小売業(スーパー・百貨店)が最も多く、次いで卸売業、飲食業でした。相手先の選定は、金融機関と日系貿易会社の仲介とあって、信用度も高く、趣旨が浸透している点において、まずは優良な相手先とのコンタクトを実現できたことが第1の大きな収穫となりました。

### 参加者の声 ●「自信が持てた、課題が見えた、ヒントを得た」

株式会社 岩城

商談先とは、現在もメールにて交渉を継続しております。貿易に伴う動きとしては、台湾での法定表記に適合するパッケージの試作等を行っています。自社商品の強みやセールスポイントが国外にも存在すると知り得たのは大きい成果です。貿易のスキルを強めればマーケットは拡大し収益増加になるものであり、この機会を得られたことは大変有意義で、現地コーディネーターや商工会職員のご尽力に感謝いたします。